

Borland C# Builder

.NET開発、もうひとつの“解”

吉田 弘一郎

YOSHIDA, Koichiro

Special Preview
BRANDNEW! C# Development

Technology Tools

- Visual Basic .NET
- Visual C# .NET
- SQL Server 2000
- Oracle 9i
- Access 2002
- ASP.NET
- Internet Information Services
- Other:
Borland C# Builder

Level



Samples

Borland on .NET

Borland社のY2K問題は「2000年までもつのか？」であったという話ですが、今世紀になると水を得た魚のように生氣を取り戻しました。ハイテク景気に無縁だった分、その崩壊にも無縁という感じです。DelphiやC++ BuilderがBorlandの伝統を守る一方で、JBuilderが大躍進し、「.NET前夜」の主要分野を見事にカバーしました。データベースやCORBAも自社製品があるという間口の広さが強みとなったのです。

ロスアンゼルスでのロングビーチで開催された2001年のBorland Developer会議は、Borlandが生き延びた安堵感と、そして将来への期待に満ち溢れていました。そんな素晴らしい雰囲気の中、あえて気になることはといえば、Borland社と「.NET」の関わりでした。その段階

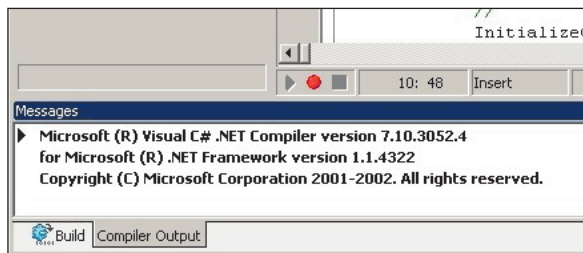
では、Borland社は公式発表してはいないものの、.NETへの非常に強い関心を匂わせました。「デベロッパーに必要なものをすべてサポートするのがBorlandである」というような言い回しであったように記憶しています。

そんな.NETへの関心が実際の形になって表われたのは、2002年8月にリリースされたDelphi 7に付いてきた「Delphi .NET」のベータ版です。これは、Delphi開発環境からVisualな要素を取り除いてDelphi言語を抽出し、それを.NET化したものです。目下Octaneというコード名のDelphi 8がリリースされるのは、今年末の予定とか。Visualの基であるVisual Component Library (VCL) も.NET化されるそうです。Delphiも益々盛んという感じで頼もしい限り。

ところが、気が付くと、開発コード名「Side Winder」で期待されていたC# Builderが、米国で2003

Borland C# Builder

図1：コンパイル中のメッセージ



年5月に早々とリリースされていたのです。Delphiの.NET化に比べ、いかにも速いのですね。普通はDelphiが先に出て、1年後にC++ Builderが追いつくというパターンだったのですが、これはどういうわけなのでしょう。

種を明かせば簡単で、「C# BuilderはMicrosoftのC#コンパイラを用いる」からなのです。これは、「JBuilderがSUNのJavaコンパイラを用いる」のと同様です。Borland製C#コンパイラを作ったわけではないのです。この事実はさほど強調されていませんが、C# Builderでコンパイルしているときに表示される図1のようなメッセージでわかります。つまり、C++ BuilderとVisual C++

を比較する場合には、各々の開発環境に加えてBorland製C++コンパイラとMicrosoft製C++コンパイラそのものをも比較することになりますが、C# Builderの場合にはC#コンパイラそのものは比較の対象になりません。JBuilderのC#版という感じです。そして、C# BuilderはVisual Studio .NETとの互換性を売り物にしています。「.NETしたいが、Microsoftオンリーというのはどうも…」という方々がターゲットのようです。

インストール

C# Builderエンタープライズ版をWindows Server 2003にインストールして少々遊んだ後、使い慣れたWindows 2000 Professionalにインストールしなおしました。今回の評価はWindowsもC# Builderも英語版です。Visual Studio .NET 2003のセットアッププログラムは「結構難あり」でしたが、C# Builderエンタープライズ版のものは「少々難あり」程度でした。つまり、CD-ROM1

Windows 2000 ProfessionalのIIS

Windows 2000 ProfessionalではIISが使えないと思いついて入っている方が多いけれど、Windows 2000 Professionalのインストールの最初の画面(図A)で「アドオンコンポーネント」を選び、次いで「IIS」を選べばOK(図

図A：Windows 2000 Professional(英語版)のインストールメニュー



Column

B)。また、SQL Serverはもともと可。さすがにドメインサーバーは無理ですけど、Windows 2000 Professionalでもいわゆるサーバー側開発は十二分に可能。いや、むしろ楽かもしれません。

図B：Windowsコンポーネントのインストール(英語版)

